

認定機器及び登録機器 審査チェックシート

平成22年9月30日

平成23年4月27日 第1回改訂

平成29年3月22日 第2回改訂

□ 各種チェックシートについては、当工業会（非常用配電盤等機器認定委員会）ホームページに掲載してありますので、ダウンロードして、ご使用になれます。

一般社団法人日本配電制御システム工業会
非常用配電盤等機器認定委員会

各種機器書類審査チェックシート（新規・更新）

耐火形端子台	1
耐熱形配線用遮断器	5
耐熱形ヒューズ	9
耐熱形素子なし配線用遮断器	13
耐熱形電磁接触器	17
耐熱形電磁継電器（コンタクタ形）	21
認定機器（OEM）	25
耐火形表示灯	29
耐火形扉用把手	33
耐火形制御用スイッチ	37
耐火形過電流継電器	41
耐熱形タイマ	45
耐熱形液面継電器	49
耐熱形整流器	53
耐熱形変流器	57
耐熱形制御用変圧器	61
耐熱形表示灯用変圧器	65
耐熱形ヒューズホルダ	69
耐熱形端子台	73
耐熱形制御用スイッチ	77
耐熱形配線用ダクト	81
耐熱形カードホルダ	85
耐熱形低圧配電用サージ防護デバイス	89
登録機器（OEM）	93

品質管理・構造検査・耐熱試験チェックシート

品質管理チェックシート	97
構造検査・耐熱試験チェックシート	
構造検査（一・二種耐熱形配線用遮断器・素子なし配線用遮断器・ヒューズ）	99
構造検査（一・二種耐熱形電磁接触器・電磁継電器）	100
耐熱試験チェックシート	
耐熱試験（一・二種耐熱形配線用遮断器・素子なし配線用遮断器）	101
耐熱試験（一・二種耐熱形ヒューズ）	103
耐熱試験（一・二種耐熱形電磁接触器・電磁継電器）	105
構造検査・耐熱試験（耐火形端子台）	106

耐火形端子台書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐火形端子台 (区分)		
審査の別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図及び外観写真 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック) 11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート(試験時の写真含む)		
1. 型式認定 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。 また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主型式試験成績表	試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 2811 に準拠していること。		
6. 外形図及び外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票（認定取得後）の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）が A 4 版の台紙に貼付されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造等は適切か。		
8. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：耐火形（耐火） ウ. 耐熱定格電流		
9. 機器の種類と定格	「認定機器試験規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格電流 オ. 耐熱定格電流 カ. 極数 キ. 適合規格（適合の場合）		
10. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び NECA C 2811 に準拠して行われているか。 （構造試験、耐熱試験チェックシートを添付する。）		
	(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真（プリント可） A 4 版の台紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題ないか。		
12. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐火形端子台書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐火形端子台 (区分)		
審査の別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 更新申請書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主型式試験成績表	試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 2811 に準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名があるか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造等は適切か。		
8. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：耐火形（耐火） ウ. 耐熱定格電流		
9. 機器の種別と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格電流 オ. 耐熱定格電流 カ. 極数 キ. 適合規格（適合の場合）		
10. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形配線用遮断器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形配線用遮断器 (区分)		
審査の別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写 (対象品以外については申請者の自主型式試験成績書) 6. 外形図及び外観写真 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック) 11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図(試験時の写真含む)		
1. 型式認定 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。 また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計 コ. 短絡遮断試験設備一式		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写又は申請者の自主型式試験成績表	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
	(3) (1)以外の配線用遮断器については、申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 8201-2-1Ann2 に準拠していること。		
6. 外形図及び外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票（認定取得後）の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA 4版の台紙に貼付されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流 エ. 耐熱定格遮断電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
9. 機器の種類と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 選択度種別 エ. 定格使用電圧 オ. 定格電流 カ. 耐熱定格電流 キ. 定格限界短絡遮断容量 ク. 耐熱定格遮断容量 ケ. 定格周波数 コ. 基準周囲温度 サ. 適合規格及び回路遮断器の種別（適合の場合）		
10. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び JIS C 8201-2-1Ann2 に準拠して行われているか。 （耐熱試験チェックシートを添付する）		
	(2) 耐熱試験の前後の鮮明なカラー写真（プリント可）がA 4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題ないか。		
12. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形配線用遮断器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形配線用遮断器 (区分)		
審査の別	更新・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写 (対象品以外については申請者の自主型式試験成績書) 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計 コ. 短絡遮断試験設備一式		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(5) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写又は申請者の自主型式試験成績表	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
	(2) (1) の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
	(3) (1) 以外の配線用遮断器については、申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
	(4) (3) の試験成績書の内容に誤りはないか。 J I S C 8201-2-1Ann2 に準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名があるか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流及び エ. 耐熱定格遮断電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
9. 機器の種類と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 選択度種別 エ. 定格使用電圧 オ. 定格電流 カ. 耐熱定格電流 キ. 定格限界短絡遮断容量 ク. 耐熱定格遮断容量 ケ. 定格周波数 コ. 基準周囲温度 サ. 適合規格及び回路遮断器の種類(適合の場合)		
10. 書類審査チェックシート	確認者のサイン及び日付が記入されているか。		
11. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形ヒューズ書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形ヒューズ (区分)		
審査の別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写 (対象品以外については申請者の自主型式試験成績書) 6. 外形図及び外観写真 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック) 11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図(試験時の写真含む)		
1. 型式認定申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの認定書の写	認定証書の写しは、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計 コ. 短絡遮断試験設備一式		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写又は申請者の自主型式試験成績表	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
	(3) (1)以外のヒューズは申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 8352 に準拠していること。		
6. 外形図及び外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票（認定取得後）の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流 エ. 耐熱定格遮断容量		一種耐熱及び二種耐熱でもよい
9. 機器の種類と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 交流、直流の別 エ. 定格電圧 オ. 定格電流（ヒューズリンク） カ. 耐熱定格電流 キ. 定格遮断容量（ヒューズリンク） ク. 耐熱定格遮断容量 ケ. 種別（A又はB） コ. 適合規格（適合の場合）		
10. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図	(1) 自主耐熱試験は、「認定機器試験基準」及び JIS C 8352 に準拠して行われているか。（耐熱試験チェックシートを添付する。）		
	(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真（プリント可）が、A4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題はないか。		

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形ヒューズ書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日

確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形ヒューズ (区分)		
審査の別	更新・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写 (対象品以外については申請者の自主型式試験成績書) 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(型式・区分)が正しく記載されているか。 (3) 型式番号が正しく記載されているか。 (4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの認定書の写	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計 コ. 短絡遮断試験設備一式		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写又は申請者の自主型式試験成績表	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
	(3) (1)以外のヒューズは申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。 J I S C 8352 に準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名があるか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流 エ. 耐熱定格遮断容量		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
9. 機器の種類と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 交流、直流の別 エ. 定格電圧 オ. 定格電流(ヒューズリンク) カ. 耐熱定格電流 キ. 定格遮断容量(ヒューズリンク) ク. 耐熱定格遮断容量 ケ. 種別(A又はB) コ. 適合規格(適合の場合)		
10. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形素子なし配線用遮断器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形素子なし配線用遮断器 (区分)		
審査の別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図及び外観写真 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック) 11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図(試験時の写真含む)		
1. 型式認定申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの認定書の写	認定証書の写しは、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6)次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S及びJ E M等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主型式試験成績表	申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。 JIS C 8201-3 に準拠していること。		
6. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票（認定取得後）の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA 4版の台紙に貼付されているか。		
7. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 銘板図又は 銘板サンプル	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
9. 機器の 種別と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 使用負荷種別 エ. 定格絶縁電圧 オ. 定格電圧（定格使用電圧） カ. 耐熱定格電流 キ. 定格使用電流（定格電流） ク. 適合規格（適合の場合）		
10. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. 自主耐熱試験 成績書及び 温度チャート図	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及びJIS C 8201-3 に準拠して行われているか。（耐熱試験チェックシートを添付する）		
	(2) 耐熱試験の前後の鮮明なカラー写真（プリント可）がA 4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題はないか。		
12. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形素子なし配線用遮断器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形素子なし配線用遮断器 (区分)		
審査の別	更新・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 (型式認定更新申請書と合わせる。)		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6)次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S及びJ E M等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主型式試験成績表	申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。 JIS C 8201-3 に準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
9. 機器の種類と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 使用負荷種別 エ. 定格絶縁電圧 オ. 定格電圧（定格使用電圧） カ. 耐熱定格電流 キ. 定格使用電流（定格電流） ク. 適合規格（適合の場合）		
10. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形電磁接触器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形電磁接触器 (区分)		
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図及び外観写真 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック) 11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図(試験時の写真含む)		
1. 型式認定 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。 また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主型式試験成績表	申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。 JIS C 8201-4-1 又は JEM 1038 に準拠していること。		
6. 外形図及び外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票（認定取得後）の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）が A 4 版の台紙に貼付されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
9. 機器の種類別と定格	「認定機器試験規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格使用電圧 エ. 定格通電電流 オ. 耐熱定格通電電流 カ. 操作回路の定格使用電圧 キ. 適合規格（適合する場合）		
10. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び JEM 1038、JIS C 8201-4-1 に準拠して行われているか。 （耐熱試験チェックシートを添付する）		
	(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真（プリント可）が、A 4 版の台紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題はないか。		
12. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形電磁接触器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形電磁接触器 (区分)		
チェックの別	更新・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主型式試験成績書	申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。 JIS C 8201-4-1 又は JEM 1038、に準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面（全般）においては、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付の記入がされているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
9. 機器の種類と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格使用電圧 エ. 定格通電電流 オ. 耐熱定格通電電流 カ. 操作回路の定格使用電圧 キ. 適合規格（適合する場合）		
10. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形電磁継電器(コンタクタ形)書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形電磁継電器(コンタクタ形) (区分)		
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項 目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図及び外観写真 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック) 11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート(試験時の写真含む)		
1. 型式認定 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。 また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 8201-5-1 に準拠していること。		
6. 外形図及び外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票（認定取得後）の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）が A 4 版の台紙に貼付されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	耐火又は耐熱構造は適切か。		
8. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格通電電流		
9. 機器の種類別と定格	「認定機器試験規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧又は定格使用電圧 エ. 耐熱定格通電電流 オ. 操作回路の定格使用電圧 カ. 定格絶縁電圧 キ. 汚損度 ク. 適合規格（JISC8201-5-1 に適合している場合）		
10. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び JIS C 8201-5-1 に準拠して行われているか。 （耐熱試験チェックシートを添付する）		
	(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真（プリント可）が、A 4 版の台紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題はないか。		
11. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形電磁継電器(コンタクタ形)書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形電磁継電器(コンタクタ形) (区分)		
チェックの別	更新・自己	製造者形式	

項 目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書	(6)次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S及びJ E M等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか添付されているか。 JIS C 8201-5-1 に準拠していること。		
6. 外形図及び外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格通電電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
9. 機器の種類と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧又は定格使用電圧 エ. 耐熱定格通電電流 オ. 操作回路の定格使用電圧 カ. 定格絶縁電圧 キ. 汚損度 ク. 適合規格（JISC8201-5-1に適合している場合）		
10. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

認定機器 (OEM) 書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 一種耐熱形配線用遮断器 (区分)		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定申請書 2. 認定証書の写 (製造元/OEM元) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図 5. 外形図 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート (自己チェック)		
1. 型式認定 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分 (種別・区分) が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 製造元の 認定証書の写	認定証書と申請書の内容に相違はないか。 ア. 型式区分 イ. 有効期限 (期限内であること。) ウ. その他		
3. 誓約書	記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関する説明書及び 品質保証体系図	(1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S及びJ E M等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
	(7) 品質保証体系図には製造元と申請者の間に認定機器の受渡し等が明確に記載されているか。		
	(8) 認定証票（認定取得後）の貼付の工程が明確に記されているか。		
	(9) その他、記載内容に誤りはないか。		
5. 外形図	(1) 申請者の図面で、外形図が書かれているか。		
	(2) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票（認定取得後）の貼付位置が明示されているか。		
6. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流又は耐熱定格通電電流 エ. 耐熱定格遮断電流（過電流保護器として遮断器を有するもの）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の種類別と定格	「認定機器審査規程」表2に掲げる関連事項が明記されているか。		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

認定機器 (OEM) 書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別)	(区分)	
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(1) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次によって いるか。 1. 型式認定更新申請書 2. 自社及び製造元/OEM 元取得済み認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図 5. 外形図 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート (自己チェック)		
1. 型式認定 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分) が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 自社及び製造 元の認定証書 の写	認定証書と申請書の内容に相違はないか。 ア. 自社の認定証書と更新申請書の型式区分 イ. 製造元の有効期限(期限内であること。) ウ. 自社と製図元の認定証書の内容		
3. 誓約書	記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関 する説明書及び 品質保証体系図	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され ているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令		
	(7) 品質保証体系図には製造元と申請者の間に認定機器の受渡し等が明確に記載されているか。		
	(8) 認定証票（認定取得後）の貼付の工程が明確に記されているか。		
	(9) その他、記載内容に誤りはないか。		
5. 外形図	(1) 申請者の図面で、外形図が書かれているか。		
	(2) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(3) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(4) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(5) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(6) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
6. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：一種耐熱形又は二種耐熱形 ウ. 耐熱定格電流又は耐熱定格通電電流 エ. 耐熱定格遮断電流（過電流保護器として遮断器を有するもの		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の種類別と定格	「認定機器審査規程」表2に掲げる関連事項が明記されているか。		
8. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐火形表示灯書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐火形表示灯		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 表示灯の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 形式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。NECAC 8151に準拠していること。		
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(3) レンズは表面より突出しているか。		
	(4) 取付孔の径は15mm以上のものか。		
	(5) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(6) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）が、A4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
	(3) レンズは不燃性（840度耐熱試験で溶解しても燃えないもの）又は難燃性（自己消火性のもの）であるか。		
	(4) ホーロー抵抗その他著しい熱を伴う部品を使用していないか。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：耐火形（耐火）		
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の内容が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格使用電圧 エ. 適合電球 オ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか。		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか		
	(3) 加熱温度（840度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 840度耐熱試験において、熱気流が侵入するようなすきまが生じていないか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐火形表示灯書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐火形表示灯		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器更新申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 表示灯の検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 8151に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) レンズは表面より突出しているか。		
	(5) 取付孔の径は15mm以上のものか。		
	(6) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
	(3) レンズは不燃性（840度耐熱試験で溶解しても燃えないもの）又は難燃性（自己消火性のもの）であるか。		
	(4) ホーロー抵抗その他著しい熱を伴う部品を使用していないか。		
7. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：耐火形（耐火）		
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の内容が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格使用電圧 エ. 適合電球 オ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐火形扉用把手書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐火形扉用把手		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 把手を検査するために必要な試験装置が明記されているか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に不備はないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(2) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 把手は鍵（キー）付又はこれに類するものであるか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真がA4版（プリント可）の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：耐火（耐火形）		
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形名		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか。		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（840度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は溶解等により、熱気流が侵入するようなすきまが生じていないか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐火形扉用把手書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐火形扉用把手		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器更新申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 把手を検査するために必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 把手は外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 鍵（キー）付又はこれに類するものであるか。		
	(5) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：耐火（耐火形）		
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形名		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐火形制御用スイッチ書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐火形制御用スイッチ		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 制御用スイッチの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 4520、NECA C 4521、NECA C 4522、又は JIS C 8201-5-1 に 準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：耐火形（耐火） ウ. 耐熱定格使用電流		
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格使用電圧 オ. 定格通電電流 カ. 耐熱定格使用電流 キ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか。		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に添付されているか。		
	(3) 加熱温度（840度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐火形制御用スイッチ書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐火形制御用スイッチ		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器更新申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載事項に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 制御用スイッチの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 4520、NECA C 4521、NECA C 4522、JIS C 8201-5-1に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記載されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：耐火形（耐火） ウ. 耐熱定格使用電流		
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格使用電圧 オ. 定格通電電流 カ. 耐熱定格使用電流 キ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形過電流継電器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形過電流継電器		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項 目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 過電流継電器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 JEM 1356 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び主 要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種耐熱形又は二種耐熱形） エ. 主回路耐熱定格使用電流 ロ. 制御回路耐熱定格使用電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 整定電流範囲 エ. 主回路の定格絶縁電圧 オ. 主回路の耐熱定格使用電流 カ. 制御回路の定格絶縁電圧 キ. 制御回路の耐熱定格使用電流 ク. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記載されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形過電流継電器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形過電流継電器		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器更新申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 過電流継電器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 JEM1356に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 ア. 耐熱形である旨の表示：(一種耐熱形又は二種耐熱形) イ. 主回路耐熱定格使用電流 ロ. 制御回路耐熱定格使用電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 整定電流範囲 エ. 主回路の定格絶縁電圧 オ. 主回路の耐熱定格使用電流 カ. 制御回路の定格絶縁電圧 キ. 制御回路の耐熱定格使用電流 ク. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形タイマ書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形タイマ		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) タイマの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA1303に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種耐熱形又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧・定格周波数 エ. 時間表す数値及びその単位 オ. 定格通電電流 カ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形タイマ書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形タイマ		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) タイマの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA1303に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：(一種耐熱形又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別：(一種又は二種耐熱形タイマ) イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧・定格周波数 エ. 時間表す数値及びその単位 オ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形液面継電器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形液面継電器		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 液面継電器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 4520、JIS C 8201-5-1に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記載されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び主 要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧 エ. 定格通電電流		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形液面継電器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形液面継電器		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器更新申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 液面継電器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 4520、JIS C 8201-5-1 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記載されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の種類別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧 エ. 定格通電電流		
9. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形整流器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形整流器		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 整流器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JEITA ED-4511Aに準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 最大許容回路電圧及び耐熱定格最大許容回路電圧 エ. 定格平均順電流及び耐熱定格平均順電流（連続・短時間） オ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形整流器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形整流器		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 整流器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JEITA ED-4511Aに準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 最大許容回路電圧及び耐熱定格最大許容回路電圧 エ. 定格平均順電流及び耐熱定格平均順電流（連続・短時間） オ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱変流器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱変流器		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 変流器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 1731-1 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格一次電流及び定格二次電流 エ. 定格周波数 オ. 定格出力とそれに相当する確度階級 カ. 最高電圧 キ. 定格絶縁レベル ク. 定格熱的耐電流 ケ. 定格負担 コ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形変流器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形変流器		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 変流器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 1731-1 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示（銘板）図、 表示サンプル は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格一次電流及び定格二次電流 エ. 定格周波数 オ. 定格出力とそれに相当する確度階級 カ. 最高電圧 キ. 定格絶縁レベル ク. 定格熱的耐電流 ケ. 定格負担 コ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形制御用変圧器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形制御用変圧器		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 制御用変圧器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JEM 1333 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形） ウ. 耐熱定格二次電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格一次電圧 エ. 定格二次電圧 オ. 定格周波数 カ. 定格二次電流 キ. 耐熱定格二次電流 ク. 定格容量 ケ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形制御用変圧器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形制御用変圧器		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 制御用変圧器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JEM 1333 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形） ウ. 耐熱定格二次電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格一次電圧 エ. 定格二次電圧 オ. 定格周波数 カ. 定格二次電流 キ. 耐熱定格二次電流 ク. 定格容量 ケ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形表示灯用変圧器書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形表示灯用変圧器		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 表示灯用変圧器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 8151 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格一次電圧 エ. 定格二次電圧 オ. 定格容量		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形表示灯用変圧器書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形表示灯用変圧器		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 表示灯用変圧器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 8151に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格一次電圧 エ. 定格二次電圧 オ. 定格容量		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形ヒューズホルダ書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形ヒューズホルダ		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) ヒューズホルダの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 8314 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形） ウ. 耐熱定格電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧 エ. 耐熱定格電流 オ. 適合電線 カ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形ヒューズホルダ書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形ヒューズホルダ		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) ヒューズホルダの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 8314 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：(一種又は二種耐熱形) ウ. 耐熱定格電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧 エ. 耐熱定格電流 オ. 適合電線 カ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形端子台書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形端子台		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 端子台の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 2811に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	(2) 表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形） ウ. 耐熱定格電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格電流 オ. 耐熱定格電流 カ. 極数 キ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形端子台書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形端子台		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 端子台の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 2811 に準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示：(一種又は二種耐熱形) ウ. 耐熱定格電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格電流 オ. 耐熱定格電流 カ. 極数 キ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形制御用スイッチ書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形制御用スイッチ		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写 (対象品以外については申請者の自主型式試験成績書) 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) スイッチの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
3. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写又は申請者の自主型式試験成績表	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
	(3) (1)以外のスイッチについては、申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 4520、NECA 4521、NECA 4522、JIS C 8201-5-1 に準拠していること。		
4. 外形図及び外観写真	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形) ウ. 耐熱定格使用電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格使用電圧 オ. 定格通電電流 カ. 耐熱定格使用電流 キ. 適合規格(適合の場合)		
8. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度(280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線)に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流500V絶縁抵抗計で測定した結果が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形制御用スイッチ書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形制御用スイッチ		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写 (対象品以外については申請者の自主型式試験成績書) 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) スwitchの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写又は申請者の自主型式試験成績表	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
	(3) (1)以外のスイッチについては、申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。 NECA C 4520、NECA 4521、NECA 4522、JIS C 8201-5-1 に準拠していること。		
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：(一種又は二種耐熱形) ウ. 耐熱定格使用電流		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格使用電圧 オ. 定格通電電流 カ. 耐熱定格使用電流 キ. 適合規格（適合の場合）		
9. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形配線用ダクト書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形配線用ダクト		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) ダクトの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形配線用ダクト書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形配線用ダクト		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) ダクトの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形カードホルダ書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形カードホルダ		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項 目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) カードホルダの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. J I S 及び J E M 等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）がA4版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形カードホルダ書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 耐熱形カードホルダ		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) カードホルダの検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式		
9. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形低圧配電用サージ防護デバイス書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
機器の種類	(種別) 低圧配電用サージ防護デバイス		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、 温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 機器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 5381-1に準拠していること。		

項 目	チェック内容	結果	指 摘 事 項
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者が設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真（プリント可）が A4 版の台紙に貼付されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 最大連続使用電圧 エ. 電流の種別 オ. 公称放電電流（クラス I 試験及びクラス II 試験） 最大放電電流（クラス II 試験） インパルス電流（クラス I 試験） カ. 電圧防護レベル キ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
	(2) 試験前後の写真（プリント可）が A4 版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度（280 度耐熱温度曲線又は 120 度耐熱温度曲線）に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280 度耐熱試験又は 120 度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱形低圧配電用サージ防護デバイス書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
機器の種類	(種別) 低圧配電用サージ防護デバイス		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項 目	チェック内容	結果	指 摘 事 項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器更新申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・使用区分)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 機器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 5381-1に準拠していること。		

項 目	チェック内容	結果	指 摘 事 項
4. 外形図	(1) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示（銘板）図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示：（一種又は二種耐熱形）		一種耐熱又は二種耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 最大連続使用電圧 エ. 電流の種別 オ. 公称放電電流（クラス I 試験及びクラス II 試験） 最大放電電流（クラス II 試験） インパルス電流（クラス I 試験） カ. 電圧防護レベル キ. 適合規格（適合の場合）		
8. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

登録機器 (OEM) 書類審査チェックシート (新規)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別)		
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 認定証書の写(製造元/OEM元) 3. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図 4. 外形図 5. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 6. 機器の種別と定格 7. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 製造元の 登録機器承認 通知書の写	認定証書と申請書の内容に相違はないか。 ア. 型式区分 イ. 有効期限(期限内であること。) ウ. その他		
3. 品質管理に関 する説明書及び 品質保証体系図	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 機器の試験に必要な装置を備えているか、明記する。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
3. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図	(7) 品質保証体系図には、製造元と申請者の間に登録機器の受渡し等が明確に記載されているか。		
	(8) その他、記載内容に誤りはないか。		
4. 外形図	(1) 申請者の図面で、外形図が書かれているか。		
	(2) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
5. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示（一種又は二種耐熱形） ウ. 耐熱定格電流又は耐熱定格通電電流 エ. 耐熱定格遮断電流（過電流保護器として遮断器を有するもの）		
6. 機器の種別と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる関連事項が明記されているか。		
7. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
8. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

登録機器 (OEM) 書類審査チェックシート (更新)

平成 年 月 日
確認者

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別)		
チェックの別	更新・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次によって いるか。 1. 登録機器更新申請書 2. 自社及び製造元/OEM元取得済み登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図 4. 外形図 5. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 6. 機器の種別と定格 7. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。 (3) 型式番号が正しく記載されているか。 (4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 自社及び製造 元の登録機器承 認通知書の写	認定証書と申請書の内容に相違はないか。 ア. 自社の認定証書と更新申請書の型式区分 イ. 製造元の有効期限(期限内であること。) ウ. 自社と製図元の認定証書の内容 エ. その他		
3. 品質管理に関 する説明書及び 品質保証体系図	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され ているか。 (5) 機器に必要な試験装置を備えているか、明記する。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 オ～クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
3. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図	(7) 品質保証体系図には、製造元と申請者の間に登録機器の受渡し等が明確に記載されているか。		
	(8) その他、記載内容に誤りはないか。		
4. 外形図	(1) 申請者の図面で、外形図が書かれているか。		
	(2) 図面（全般）には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 （最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要）		
	(3) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(4) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(5) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
5. 表示（銘板）図、表示サンプル又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 イ. 耐熱形である旨の表示（一種又は二種耐熱形） ウ. 耐熱定格電流又は耐熱定格通電電流 エ. 耐熱定格遮断電流（過電流保護器として遮断器を有するもの）		
6. 機器の種類と定格	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる関連事項が明記されているか。		
7. 書類審査チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
8. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

品質管理チェックシート

申請者名		実施年月日	年 月 日
------	--	-------	-------

項目	チェック内容	結果	指摘事項
1. 品質管理組織	(1) 会社組織表で品質管理の位置づけが確認できるか。		
	(2) 社内の制定文書で品質管理組織が確立されているか。		
	(3) 品質管理組織上の責任及び権限を明確にしているか。		
2. 規格、図面の管理	(1) 保管責任者が定められているか。		
	(2) 管理部門、製造部門等必要な場所に備えているか。		
	(3) 次の規格、基準類（最新版）が備えられているか。 （品質管理規程に明記） ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 消防法関係法令集 ウ. 建築基準法関係法令集 エ. 電気設備の技術基準 オ. 内線規程 カ. J I S及びJ E M等における関係規格 キ. 社内設計基準 ク. 社内検査基準		
3. 環境の管理	(1) 整理、整頓が行われているか。		
	(2) 危険防止のための標識、識別が作業場内にされているか。		
	(3) 試験、検査の場所を確保することができるか。		
4. 試験装置等の管理	(1) 次の試験装置等を備えているか。（品質管理規程に明記） ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A、C T400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V, 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 A C2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 D C500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計 コ. その他、申請機器に対応した試験装置		
	(2) 管理基準を定めて管理しているか。		
	(3) 計器類は校正され、その表示がなされているか。		
5. 作業者等の技術管理	作業者に対し、製品の規格、仕様、作業方法等について教育及び訓練がなされているか。 ア. 社外講習への参加 イ. 社内講習の実施 ウ. 現場作業についての技術指導		
6. 在庫品の管理	(1) 材料、部品及び完成品は良好に保管されているか。		
	(2) 倉庫及び組立現場において材料、部品が防災用と一般用と区分して保管されているか。		
	(3) 不適合品等が適正に管理されているか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
7. 製造工程の管理	(1) 作業標準等を制定し、作業員に周知徹底しているか。		
	(2) 品質管理工程図が作成されているか。		
8. 試験及び検査	(1) 材料、部品等の受入検査基準を定め、実施しているか。		
	(2) 製品の検査基準を定め、実施しているか。		
	(3) 検査時の具体的なチェック表を作成しているか。		
	(4) 検査したものについて表示がなされているか。		
	(5) 出荷品の検査記録は保管されているか。(10年間)		
9. 情報の管理	(1) 納入後に発生した不具合等について調査、対策、処置の記録が整理、保管されているか。		
	(2) 不具合等について再発防止の措置がとられており、具体的な例で説明できるか。		
10. 認定取得後の 証票の管理	(1) 認定証票は、どのような管理をするか。		
	(2) 認定証票交付申請書、認定証票使用報告書及び認定証票取付台帳の管理体制は、どのようにするか。		
11. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

構造検査チェックシート

(一・二種耐熱形配線用遮断器・ヒューズ・素子なし配線用遮断器)

申請者名		実施年月日	年	月	日
------	--	-------	---	---	---

項目		チェック内容	結果	
配線用遮断器	極数	(1)2極 (2)3極 (3)その他()極		
	素子数	(1)素子なし (2)1素子 (3)2素子 (4)3素子 (5)その他()		
	相線式	(1)単相 (2)3相(単3兼用) (3)単3専用 (4)その他()		
	引外し方式	(1)熱動(熱動-電磁) (2)電磁 (3)その他()		
	消弧室	(1)有 (2)無		
	ケース (ベース)	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他()	
		充填物	(1)有機(パルプ類) (2)無機(ガラス等) (3)その他()	
	カバー	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他()	
		充填物	(1)有機(パルプ類) (2)無機(ガラス等) (3)その他()	
	接合部分	接点と導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他()	
		端子と導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他()	
		コイルと導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他()	
		可とう導体と固定導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他()	
		バイメタルと導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他()	
	バネの材質	開閉引き外しバネ	(1)ステンレス鋼および鋼 (2)りん青銅 (3)その他()	
可動鉄心復帰バネ		(1)ステンレス鋼および鋼 (2)りん青銅 (3)その他()		
鉄心バネ (オイルダッシュボット)		(1)ステンレス鋼および鋼 (2)りん青銅 (3)その他()		
付属装置	スイッチのケース(ベース)材料	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他()		
	スイッチのボタン材料	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他()		
	引出しリード線の絶縁材料	(1)ビニル電線 (2)耐熱性電線 (3)その他()		
	スイッチの端子とリード線の接合	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・ネジ止 (3)その他()		
	端子台の材料	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他()		
ヒューズ	ヒューズの可溶体	(1)銀 (2)その他()		
	キャップの接続	(1)溶接 (2)圧接 (3)ネジ止 (4)ハンダ (5)その他()		
	可溶体の形状	(1)板状のもの (2)塊状のもの (3)その他()		

- 備考 1. チェック内容の該当箇所を○で囲み、適正は○印、不適正は×印、該当なしは-印を記入すること。
 2. その他の材料等を使用の場合は()内に具体的に記入すること。
 3. 付属装置は二種のみ適用すること。

構造検査チェックシート

(一・二種耐熱形電磁接触器・電磁継電器)

申請者名		実施年月日	年 月 日
------	--	-------	-------

項目	チェック内容	結果	
極 数	(1)2極 (2)3極 (3)その他 () 極		
消弧室※	(1)有 (2)無		
ケース (フレーム)	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他 ()	
	充填物	(1)有機 (パルプ類) (2)無機 (ガラス等) (3)その他 ()	
コイルボビン	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他 ()	
	充填物	(1)有機 (パルプ類) (2)無機 (ガラス等) (3)その他 ()	
接 合 部 分	接点と導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他 ()	
	端子と導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他 ()	
	コイルと導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他 ()	
	可とう導体と固定導体	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3)その他 ()	
バネの 材 質	接点用押えバネ	(1)ステンレス鋼および鋼 (2)りん青銅 (3)その他 ()	
	可動鉄心復帰バネ	(1)ステンレス鋼および鋼 (2)りん青銅 (3)その他 ()	
付属装置 補助スイッチのケース材料	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他 ()		
インターロック 等の材質※	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)鋼材 (4)その他 ()	
	充填物	(1)有機 (パルプ類) (2)無機 (ガラス等) (3)その他 ()	
その他			

- 備考 1. チェック内容の該当箇所を○で囲み、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。
2. その他の材料等を使用の場合は () 内に具体的に記入すること。
3. ※印は耐熱形電磁接触器にのみ適用すること。

耐熱試験チェックシート

(一・二種耐熱形配線用遮断器・素子なし配線用遮断器)

申請者名		実施年月日	年	月	日
------	--	-------	---	---	---

項目		チェック内容			結果	
予備試験	200%引外し試験	供試品	フレーム内の製作している最大定格電流のものであるか。			
			構造検査(耐熱構造のチェック)に合格したものであるか。			
		電源	試験電源の電圧は任意であるが、50Hz又は60Hzの電源であるか。			
		接続電線	遮断器に直接接続される電線の太さは「認定機器試験基準」に基づいているか。			
		電流	試験電流は基準周囲温度における定格電流を室温に対して補正された値を通電しているか。			
	動作時間	動作時間はコールドスタートで各極に対して試験し、基準周囲温度に換算したとき製造者が予め設定した動作時間に適合しているか。				
	付属装置の動作	補助接点	遮断器を開閉操作した時、補助接点が正常な動作をしているか。			
警報接点		遮断器をトリップリセット操作した時、警報接点が正常な動作をしているか。				
耐熱通電試験		供試品	予備試験を行なったものであるか。			
		取付け	認定された加熱炉に「認定機器試験基準」の付図 2.4A 又は付図 2.4B に基づき取付けられているか。			
		接続	耐熱通電試験における接続方法は「認定機器試験基準」に基づいているか。			
			各極同時に通電するように接続されているか。			
		加熱	「構造及び関する基準」図 2.4 の C 点の温度を図 1 の耐熱試験温度曲線(一種は 280 度、二種は 120 度)に従って加熱したか。			
		記録	自動記録の記録用紙に予め標準加熱曲線(基準および上下バンド)が記入されているか。記録紙は添付されているか。			
		通電	通電は耐熱定格電流を標準加熱曲線の時間の起点から通電したか。			
			電流は電流計によって 30 分間監視したか。			
		動作	30 分間動作せずに通電できたか。			
		付属装置	30 分間スイッチの誤動作はなかったか。(適当なリレーを用いた自己保持回路が開放しないことを確認。電圧、電流レベルを記録。)			
耐熱遮断試験		供試品	耐熱通電試験を行なったものであるか。			
		取付け接続	耐熱通電試験のままの取付けであるか。			
			接続は各極同時に規定の電圧の下で規定の電流が通電されるように接続されているか。(定格電流が 100A 超過のものは炉から取り出し遮断試験を行ってもよい。)			
		試験回路	電圧は AC 200V 以上あるか。			
			電流は AC 200V に対応する耐熱定格遮断容量以上の値であるか。			
			力率は「認定機器試験基準」に基づいているか。			
		責務	試験の動作責務は“0”1回であるか。			
		遮断	バックアップ遮断器により電流遮断を行っていないことをオロスシグラムにより確認したか。			
		地絡	地絡検出用のヒューズが溶断していないことを確認したか。			

項 目		チェック内容	結果
耐熱遮断試験	試 験	遮断試験は耐熱通電試験終了後5分以内に行われたか。(定格電流が100A以下のものみに適用する。)	
	温 度	(1) 遮断試験時のC点温度は記録されたか。(定格電流が100A以下のものみに適用する。)	
		(2) 炉から出して試験を行う場合は取り出し時のC点温度は、一種は200度以上、二種は100度以上となっているか。(定格電流100Aを超えるものみに適用し記録紙を添付すること。)	
	付 属 装 置	遮断器の遮断動作に対応して付属装置は正常に動作したか。 (自己保持回路の開放を確認)	
絶縁抵抗試験	供 試 品	耐熱遮断試験を行なったものであるか。但し、素子なし配線用遮断器は耐熱通電試験後に行うこと。	
	絶縁抵抗測定	直流500V絶縁抵抗計により、「認定機器試験基準」にしたがって、絶縁抵抗を測定して、0.4MΩ以上であるか。(定格電流が100A超過のものは、耐熱通電試験後と耐熱遮断試験後(炉外)に行うこと。)	
	測 定 開 始	絶縁抵抗の測定開始は耐熱遮断試験終了直後に行われたか。	
	温 度	絶縁抵抗測定開始時のC点温度は記録されたか。 定格電流が100Aを超えるもので、炉外で耐熱遮断試験を行ったものは遮断試験5分以内に行われたか。	
その他			

備考 1. 試供品の台数及び判定は「認定機器試験基準」によること。

2. 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱試験チェックシート

(一・二種耐熱形ヒューズ)

申請者名		実施年月日	年 月 日
------	--	-------	-------

項目	チェック内容		結果
200% 溶断試験	試供品	ヒューズホルダに適用可能な最大ヒューズリンクのものであるか。	
		構造検査(耐熱構造のチェック)に合格したものであるか。	
	電源	試験電源の電圧は任意であるが、50Hz又は60Hzの電源であるか。	
	接続電線	ヒューズに直接接続される電線の太さは「認定機器試験基準」に基づいているか。	
	溶断時間	溶断時間はコールドスタートで溶断試験したとき JIS C 8352 に示される溶断時間電流特性の範囲に適合しているか。	
耐熱通電試験	供試品	200%溶断試験を行ったものと同一ロットであるか。	
	取付け	認定された加熱炉に「認定機器試験基準」の付図 2.4A、付図 2.4B に基づき取付けられているか。	
	接続	耐熱通電試験における接続方法は、「認定機器試験基準」に基づいているか。	
		単相接続で各ヒューズ「認定機器試験基準」によって行う。	
	加熱	「構造及び性能に関する基準」図 2.4 のC点の温度を図 1 の耐熱試験温度曲線(1種は 280 度、二種は 120 度)に従って加熱したか。	
	記録	自動記録の記録用紙に予め標準加熱曲線(基準及び上下バンド)が記入されているか。	
	通電	通電は耐熱定格電流を標準加熱曲線の時間の起点から通電したか。	
電流は電流計によって 30 分間監視したか。			
	溶断	30 分間動作せずに通電できたか。	
耐熱遮断試験	供試品	耐熱通電試験を行ったものであるか。	
	取付け接続	耐熱通電試験のままの取付けであるか。	
		接続は規定の電圧の下で規定の電流が通電されるように接続されているか。 (定格電流が 100A 超過のものは炉から取出し遮断試験を行ってもよい。)	
	試験回路	電圧は AC 220V 以上であるか。	
		電流は AC 220V に対応する耐熱定格遮断容量以上の値であるか。	
		力率は「認定機器試験基準」に基づいているか。	
	責務	試験の責務は、「O」1 回で発弧位相は 65° ~ 90° であるか。	
	遮断	バックアップ遮断器により電流遮断を行っていないことをオシログラムにより確認したか。	
	地絡	地絡検出用のヒューズが溶断していないことを確認したか。	
	試験	遮断試験は耐熱通電試験終了後 5 分以内に行われたか。 (定格電流が 100A 以下のものみに適用する。)	
温度	(1) 遮断試験時の C 点温度は記録されたか。		
	(2) 炉から出して試験を行う場合の取り出し時の C 点温度は、 一種は 200 度以上、 二種は 100 度以上 となっているか。 (定格電流 100A を超えるのものみに、適用し記録紙を添付すること。)		

項 目		チェック内容	結果
絶縁抵抗試験	供 試 品	耐熱遮断試験を行ったものであるか。	
	絶縁抵抗測定	直流 500V 絶縁抵抗計により、「認定機器試験基準」にしたがって絶縁抵抗を測定し、0.4MΩ以上であるか。(定格電流が 100A 超過のものは耐熱通電試験後と耐熱遮断試験後 (炉外) に行うこと。)	
	測 定 開 始	絶縁抵抗の測定開始は耐熱遮断試験終了直後に行われたか。	
	温 度	絶縁抵抗測定開始時の C 点温度は記録されたか。 定格電流が 100A を超えるもので、炉外で耐熱遮断試験を行ったものは遮断試験 5 分以内に行われたか。	

備考 1. 試供品の台数及び判定は「認定機器試験基準」によること。

2. 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは－印を記入すること。

耐熱試験チェックシート

(一・二種耐熱形電磁接触器・電磁継電器)

申請者名		実施年月日	年	月	日
------	--	-------	---	---	---

項目		チェック内容	結果
予備試験	試供品	構造検査(耐熱構造チェック)に合格したものであるか。	
	電源	試験電源の電圧は任意であるが、50Hz又は60Hzの電源であるか。	
	接続電線	接触器又は継電器に直接接続される電線の太さは「認定機器試験基準」に基づいているか。	
	動作電圧	定格使用電圧の85~110%で動作は良好か。	
耐熱通電試験	供試品	予備試験を行ったものであるか。	
	取付け	認定された加熱炉に「認定機器試験基準」の付図3.4に基づき取付けられているか。	
	接続	耐熱通電試験における接続方法は「認定機器試験基準」に基づいているか。	
		各極同時に通電するよう接続されているか。	
	加熱	「構造及び性能に関する基準」図2.4のC点の温度を図1の耐熱試験温度曲線(一種は280度、二種は120度)に従って加熱したか。	
	記録	自動記録の記録用紙に予め標準加熱曲線(基準及び上下バンド)が記入されているか。	
	通電	通電は耐熱定格通電電流を標準加熱曲線の時間の起点から通電したか。	
電流は電流計によって29分間監視したか。			
耐熱開閉試験	動作	29分間動作せずに通電できたか。	
	供試品	耐熱通電試験を行ったものであるか。	
	取付け接続	耐熱通電試験のままの取付けであるか。	
		接続は各極同時に規定の電圧の下で規定の電流が通電されるように接続されているか。	
	試験回路	電圧は、交流用又は交直両用の場合はAC220V以上、直流用の場合はDC220V以上(DC110用の場合は、110V以上)であるか。	
		電流は、AC220V、DC220V(DC110V用はDC110V)に対応する耐熱定格通電電流以上の値であるか。	
		力率は、0.6~0.7又はL/Rが0.85~1.15msであるか。	
	責務	試験の動作責務は“CO”2回であるか。	
開閉	バックアップ遮断器により電流を開閉していないことを確認したか。		
地絡	地絡検出用のヒューズが溶断していないことを確認したか。		
温度	開閉試験時のC点温度は記録されたか。		
絶縁抵抗試験	供試品	耐熱開閉試験を行ったものであるか。	
	絶縁抵抗測定	直流500V絶縁抵抗計により、「認定機器試験基準」にしたがって絶縁抵抗を測定し、0.4MΩ以上であるか。	
	測定開始	絶縁抵抗の測定開始は耐熱開閉試験終了直後に行われたか。	
	温度	絶縁抵抗測定開始時のC点温度は記録されたか。	

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

構造検査及び耐熱試験チェックシート (耐火形端子台)

申請者名		実施年月日		年	月	日
------	--	-------	--	---	---	---

項目		チェック内容	結果	
構造検査	極数	(1)1極 (2)2極 (3)3極 (4)その他()極		
	端子の形状	(1)ねじ端子 (2)スタッド端子 (3)クランプ端子 (4)押締端子 (5)その他()		
	ゆるみ止め	ゆるむ恐れのある部分にゆるみ止めが施してあるか。 さび等が発生する部分に表面処理が施してあるか。		
	材質	絶縁物	(1)セラミック() (2)合成樹脂() (3)その他()	
		導電部	(1)銅 (2)銅合金 (3)その他()	
		端子ねじ	(1)鋼 (2)ステンレス (3)その他()	
	絶縁距離	空間距離L-L及びL-A並びに沿面距離a又はbは「認定機器試験基準」の寸法を有しているか。(適合電線を接続した状態で測定する。)		
耐電圧試験		次の条件で試験を行ったとき、絶縁破壊を発生しなかったか。 (1)試験電圧 (a) 定格絶縁電圧 250Vは 2000V (b) " 250Vを超え 660V以下は 2500V (2) 試験電圧印加時間 1分間 (3) 試験電圧印加部分 (a) 各充電部間 (b) 各充電部と接地金属部間		
耐熱通電試験	取付け	所定の模擬供試体に正しく、使用状態に取付けられているか。		
	接続	端子台に接続した電線は所定の太さであるか。またねじの締付トルクは「認定機器試験基準」図3の値であるか。		
		耐熱定格電流を各極同時に通電できるように接続されているか。		
	加熱	加熱は「構造及び性能に関する基準」図1の840度耐熱試験温度曲線に基づいて行ったか。		
	記録	自動記録の記録用紙に予め標準加熱曲線(基準及び上下バンド)が記入されているか。		
	通電	通電は耐熱定格電流を加熱の起点から通電したか。		
電流は電流計により30分間監視したか。				
30分間通電できたか。				
耐熱絶縁抵抗試験	供試品	耐熱通電試験と同時に同一加熱条件で加熱したものであるか。		
	接続	各充電部間及び各充電部と接地金属間の絶縁抵抗が測定できるような適当な太さの電線が接続されているか。		
	絶縁抵抗測定	絶縁抵抗の測定は、加熱試験直前及び加熱終了直後に行われたか。		
直流500V絶縁抵抗計で測定した各充電部間及び各充電部と接続金属部間の絶縁抵抗は、0.4MΩ以上であったか。				

備考1. チェック内容の該当箇所を○で囲み、結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは-印を記入すること。

2. その他の材料等を使用の場合は()内は具体的に記入すること。